

令和2年10月16日

厚木市長 小林 常 良 様

厚木市行政改革調査委員会  
委員長 西 尾 隆

第7次厚木市行政改革大綱原案について（答申）

令和2年8月25日付けをもって諮問のありました第7次厚木市行政改革大綱原案について、慎重かつ活発な議論を重ね、本委員会の意見を取りまとめましたので、別紙のとおり答申いたします。

## 答 申

厚木市は、これまで社会情勢の変化に対応した効果的・効率的な行政運営を図るために行政改革に取り組んできた。特に、第6次厚木市行政改革大綱では、量の削減を意識した行政改革から、長期的な視点による市民サービスの質の向上を意識した行政改革へと取組の方向性を転換し、強い組織、強い財政、公共サービスの向上に向けた取組を進めている。

こうした中、厚木市を取り巻く環境は、超高齢社会の到来や自然災害の激甚化、情報技術の進展等による経済・産業構造の変化、市民ニーズの多様化など、大きく変化している。さらに新型コロナウイルス感染症の拡大は、新しい生活様式への移行が求められるなど社会環境に大きな影響を与え、行政運営に当たっても働き方や業務執行のあり方などの見直しが求められている。

そこで、現在、厚木市の最上位計画として策定が進められている第10次厚木市総合計画の将来都市像「自分らしさ輝く希望と幸せあふれる元気なまちあつぎ」の実現を目指し、これまで以上の効果的・効率的な行政運営を図るための行政改革を継続的に推進することに加え、新型コロナウイルス感染対策を踏まえた新たな改革に積極的に取り組んでいかなければならない。

第10次厚木市総合計画を踏まえて策定される第7次厚木市行政改革大綱原案については、本委員会において、慎重に審議を重ねた結果、少子高齢化や人口減少を踏まえ、未来を見据えた取組を策定の主眼と置いており、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会環境の変化を視野に入れるなど、行政改革の指針としておおむね妥当なもの判断する。

なお、本答申にまとめた意見及び本答申に示していない本委員会での審議過程における意見及び要望等については、大綱や実施計画の策定・実施に当たり、その趣旨をできる限り尊重されたい。

さらに、第7次厚木市行政改革大綱を全職員が一丸となり積極的に取り組むことを切に要望し、答申とするものである。

## 1 改革を推進するに当たっての基本的な考え方について

第6次厚木市行政改革大綱の理念としていた「未来を見据えた中長期的な経営戦略に主眼を置いた行政改革」を継承しつつも、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた取組を明確にされたい。

## 2 行政改革の具体的な取組について

具体的な取組については、第6次厚木市行政改革大綱「あつぎ行政経営プラン」の成果と課題を十分に分析した上で取り組むことが重要である。

3つの重点目標ごとに意見を取りまとめたので、十分尊重され、必要な取組を着実に実行するための大綱とされたい。

### (1) 強くしなやかな組織づくり

ア 強い組織づくりに向け、必要な職員の確保に取り組んできたところであるが、激甚化する自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応など、部局を超えた協力体制が今後ますます重要になると考えられる。組織の応援体制や柔軟な人材活用について、第6次行政改革の課題を踏まえ、必要な取組を実施されたい。

イ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う「新しい生活様式」への移行が求められる中、職員の働き方改革を進めることにより、生産性の向上を図り、より質の高い行政サービスを提供していく必要がある。新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、厚木市が具体的に何をするのか、優先的に取り組むべき事例を明示されたい。

### (2) 強い財政基盤の確立

ア 強い財政基盤を確立するためには、安定した財源の確保に向けた取組と歳出の抑制が重要である。行政にも「経営」の視点が求められることから、歳入の確保、歳出の抑制に当たっては民間の柔軟な手法も取り入れながら、積極的に実施されたい。

イ 未来の厚木市にとって必要な事業とは何かという視点により、事業の見直しを実施されたい。

### (3) 市民協働による公共サービスの向上

ア 公共サービス向上のため、市民協働によるまちづくりの更なる推進が必要である。そこで、引き続き市民活動への支援に取り組んでいただきたい。

イ 公平な行政サービスを確立するため、補助金や助成金などについては、ゼロベースから必要性や効果を検証し、慣習にとらわれることなく見直しを行っていただきたい。

### 3 達成指標・数値目標について

行政改革の推進をアンケートの結果のみによって評価することは必ずしも適切ではないことから、これまでどおり個々の取組に目標値を設定し、その進捗を管理することが重要である。

そこで、第7次行政改革に取り組んだ結果が明確になるよう、達成指標・数値目標の設定については、再度検討されたい。

### 4 全体に関する内容

専門用語等の使用を控え、分かりやすい表現とされたい。